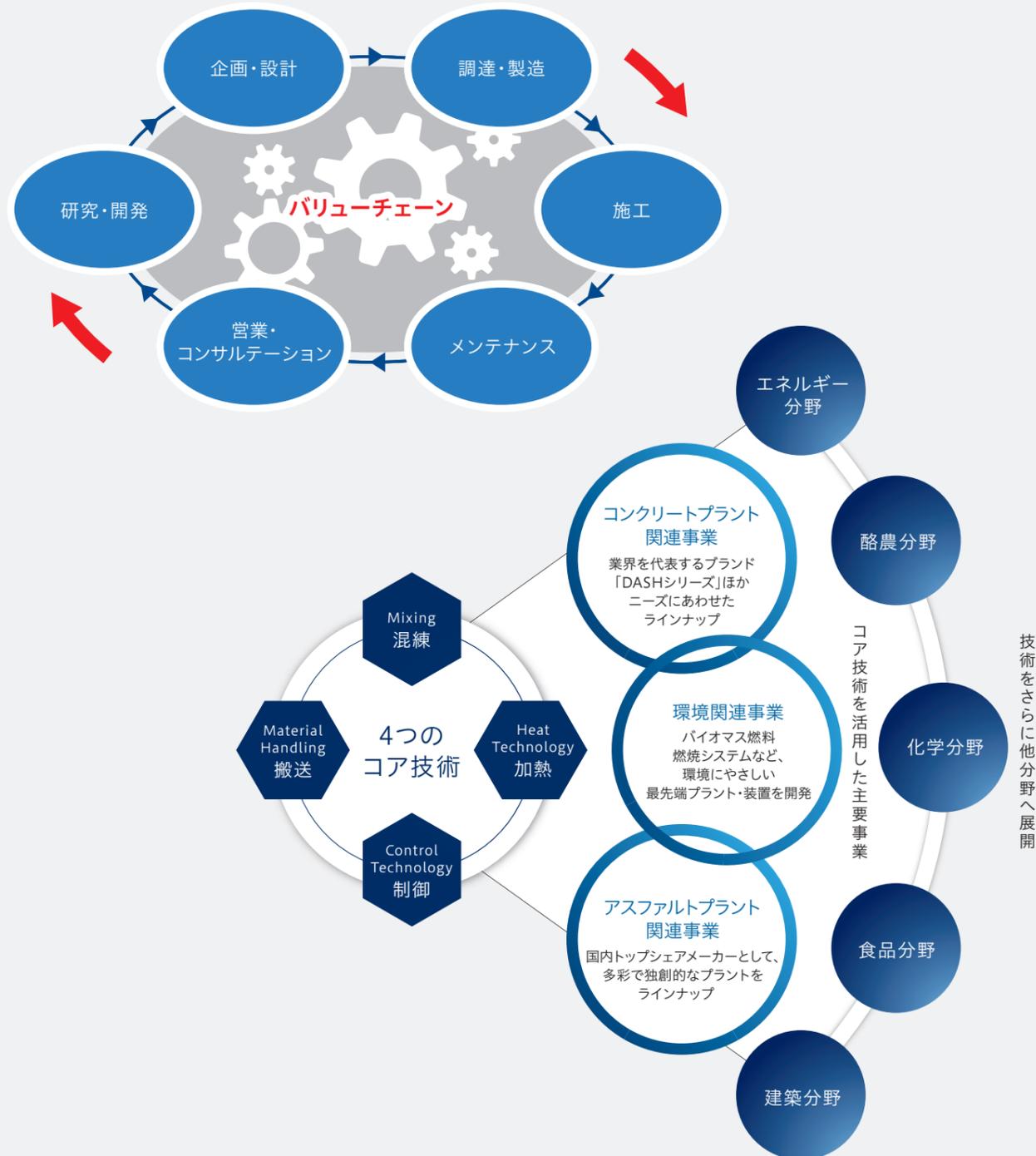


日エグループはお客様第一主義とし、お客様に真に満足いただける製品とサービスを提供するとともに、広く社会から信頼され、お客様とともに発展するソリューションパートナーとなることを使命としています。4つのコア技術に裏打ちされた独自技術と新たなアイデアでモノづくりと街づくりに貢献し、お客様そして社会から信頼されるため「顧客への価値提供基盤」を磨き続けています。



価値提供基盤強化に向けて

企画・設計からメンテナンスまで価値提供基盤を構成する各部門は、営業部門と緊密に連携しつつお客様の課題を解決するため基盤の強化に取り組んでいます。

価値提供基盤の強化に向けて		
	対処すべき課題	対応策
価値提供基盤	研究・開発 ○ 燃焼技術における低炭素排出機能の拡充 ○ コンクリートで培った混練技術の食品・化学など他分野での用途開発 ○ プラント状態監視のための高感度センサー(振動、音、電流などの異常値検知)、制御ソフト、ビッグデータ解析ソフトの開発	◎ 産学連携の推進 (徳島大、京都大、大阪大との共同研究) ◎ 異分野パートナー企業との共同開発
	企画・設計 ○ 顧客の要求する仕様に対する適正な製品提案と納期対応 ○ 顧客のプラントに対する課題解決のための技術的提案	◎ 短納期に対応可能な新製品の開発 ◎ 営業・メンテナンス部門との協業による課題解決
	調達 ○ 新たな調達先の発掘及び複数購買の推進 ○ 価格高騰の抑制とコストダウンの推進	◎ 設計と協力、機能購買の推進 ◎ 取引先・製品の特徴を把握、海外調達を含めたコストダウンの推進
	製造 ○ 製造に関する技能・技術の向上と継承 ○ 品質と生産性向上と製造原価低減の最適化 ○ 短納期、特殊仕様、特殊物件への柔軟な対応	◎ 偏りのない年齢構成の確保とローテーションによる多能工化の推進 ◎ 設備投資の推進と品質検査の徹底、作りやすい設計構造の推進 ◎ 倉庫建設や工場レイアウト再構築によるモノづくりおよび保管スペースの拡大 ◎ 製造工程外注も含めて積極的な特殊物件対応の推進
	施工 ○ 工事工程の削減 ○ 安全指導・安全作業の徹底	◎ 企画・設計段階より工事部門が加わり施工しやすい構造の推進 ◎ 綿密な打ち合わせ、現地環境を事前に把握しロスのない施工の徹底 ◎ 施工安全性を加味した構造を設計部門へフィードバック
	メンテナンス ○ ウィズコロナで非接触、遠隔サービスのニーズ増大、顧客プラントの遠隔状態監視と予防予知への対応 ○ アフターメンテナンスからビフォーメンテナンスへのシフト	◎ 研究開発部門と連携、顧客プラントの異常検知能力の精度向上 ◎ 非対面・非接触ニーズに対応したリモートメンテナンス・ウェアラブル端末による遠隔サポート ◎ 試験プラントでの経験値蓄積と予知能力の向上 ◎ サービス体系の抜本的見直し

お客様からのフィードバック

納入させていただいたプラントの満足度や改善点についてご意見をお聞きし、製品・サービスの改善や新たな開発に活かしています。

お客様の声

1

桑名アスコン共同企業様

三重県桑名市の桑名アスコン共同企業様を訪問しました。

場所は名古屋市と四日市市の間に位置し、北に東名阪自動車道、南に伊勢湾岸自動車道が走り、アクセスが良い立地です。

約40年ぶりのプラント全面更新を実施し、2019年9月に新プラントが稼動しました。

お忙しい中、三崎所長にお話を伺いました。



Q&A

Q: プラント更新を計画した経緯を教えてください。

A: 以前のプラントは1978年にAP本体を設置後、合材サイロ、加熱式リサイクルユニットを増設しましたが、老朽化が進んでいました。

最新式的环境配慮型プラントへ更新するとともに、社会インフラへ更に貢献できるようにプラント能力を強化しました。また、プラントメーカーが装置毎に異なっていたため統一できて良かったです。

Q: この度、日工製最新鋭プラント：VP IIをご採用いただいた理由を教えてください。

A: 最も大きな理由は狭い敷地に新プラントがコンパクトに収まったからです。

前のプラントを解体した場所に新設する計画でしたが、能力アップもしたため上手く収まるか不安でした。日工製プラントを採用したことで、場内の動線も入替前と大きく変えることなく運営できています。

APの設置面積を最小限にできた分、事務所と骨材ヤードも同時工事で行うことができました。

また、昨年、明石で開催された日工展示会へ行き、実機を見学できたことも建替のイメージが湧いて良かった点です。

Q: 建替工事中にご苦労された点を教えてください。

A: 前のプラントを解体してから新プラントが稼動するまで

約半年を要しました。その間にAP建替以外にも事務所建替、ストックヤード建替を同時に行ったため、工程と作業範囲がタイトでした。

全ての施工業者が参加する隔週の定例打合せを実施し、細かな調整を行うことで一つ一つ課題を解消し、計画通りの事業所リニューアルを遂行できました。

Q: 仕様でこだわられたポイントがあれば教えてください。

A: 1点目は能力アップです。以前のプラントはV材製造能力60t/h、合材サイロ1基と好立地の利点を活かされていませんでした。

新プラントはV材製造能力をアップさせ、合材サイロを2基に増設し、高速道路や多品種の出荷に対応できるようにしました。

2点目は外観です。景観条例の規制に掛かり、希望した色を使用できませんでしたが、アクセント色としてJV下の松岡建設株式会社と日本道路株式会社のコーポレートカラー：青色を基調としたラインを入れました。

また桑名市公認キャラクター「ゆめはまちゃん」をプラント正面に掲げ、地域に愛されるプラントを目指しました。最後に周囲への環境配慮の観点から脱臭装置の設置やプラント全面囲いによる粉じん対策を行いました。

これからも地域に根ざしたプラント運営を行っていきます。

お客様の声

2

川岸工業株式会社(筑波工場)様

茨城県下妻市でご活躍中の川岸工業株式会社(筑波工場)様を訪問しました。

下妻市は茨城県南西部、東京から約60km圏に位置つくば市、常総市等に隣接する、面積は約81平方キロメートル、人口は約4.6万の都市です。東部に小貝川、西部に鬼怒川が流れ、中央部に砂沼があり、水資源の豊かな土地になります。

川岸工業株式会社様は主な事業は鉄骨事業であり、明治39年の創業以来、生産された製品は多くの高層建造物や大空間構造物に使用されております。

平成3年より新たに筑波工場を新設し、プレキャストコンクリートの製造を開始致しました。筑波工場新設時には弊社のバッチャープラント(1.5m³ 二軸SF ミキサー搭載)を採用して頂き、今回は同敷地内にもう1基バッチャープラントを増設する計画の中で、高強度コンクリート対応ミキサー(DASH-Hyper-167)を搭載した新型バッチャープラント(DASH-Progress)を採用して頂きました。

本日はお忙しい中、管林工場長にお話を伺いました。



新プラントミキサー (DASH-Hyper-167)

Q&A

Q: 今回プラント増設を決定された1番のポイントをお聞かせください。

A: 多種多様なコンクリートに対応する為に今回の増設を計画しました。

また、1つの製品の中に2種強度が異なるコンクリートを使用する際、プラントを2基使用して打ち分けし、作業工程を短縮できる点も増設計画の要因の1つです。

Q: 新しく増設したバッチャープラントの仕様で拘ったポイントをお聞かせください。

A: 高強度コンクリートをより早く混練する為にDASH-Hyperのミキサーを新プラントに採用しました。

また、敷地の有効利用の為、既設コルゲートサイロを流用して、引出コンベヤのヘッド部に切替のダンパーを設置し、各傾斜コンベヤから既設・新設プラントへ骨材を供給できるように計画したのも拘ったポイントです。セメントサイロは新プラント用に2基増設しましたが、多種多様な製品に対応する為、各サイロに中仕切りを入れ、セメントや混和材を計4種ストックできるようにしました。

Q: 新しく増設したプラントをご使用して頂いている感想をお聞かせください。

A: ミキサーは高強度コンクリートの混練に十分対応しており、性能も良く、混練時間も以前より短縮することができました。

また、今までミキサーは手洗いでしたが、自動洗浄機(SWAT)を採用した為、洗浄の作業時間ははるかに短縮されました。

プラントに関しては各フロアの動線・作業スペースが十分に確保されており、点検・メンテナンスのしやすさを実感しております。

Q: 今後、日工に対してご意見・ご要望等ございましたらお聞かせください。

A: オペレーターがまだ入って間もないという事情もありますが、プラントは扱いやすく、操作盤は画面も見やすく操作が容易な為、非常に助かっています。今後は更に誰もが簡単にコンクリートを生産でき、メンテナンスがし易いプラントの開発に期待しております。